2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月11日

上 場 会 社 名	株式会社ズーム	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	6694	URL	https://www.zoom.co.jp/
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役CEO	（氏名）	工藤　俊介
問合せ先責任者	（役職名） 取締役CFO	（氏名）	山田　達三　　(TEL) 03(5297)1001
配当支払開始予定日	―		

決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	13,635	12.8	747	―	686	―	322	―
2025年12月期第３四半期	12,092	△0.2	△281	―	△386	―	△686	―

（注）包括利益 2026年12月期第３四半期　311百万円（　　－%）2025年12月期第３四半期　△522百万円（　　－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	74.62	―
2025年12月期第３四半期	△158.43	―

（注）　潜在株式調整後１株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	18,507	7,593	31.0
2025年12月期	18,743	7,420	30.1

（参考）自己資本 2026年12月期第３四半期　5,732百万円　　2025年12月期　5,640百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	―	0.00	―	32.00	32.00
2026年12月期	―	0.00	―		
2026年12月期(予想)				32.00	32.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,500	6.1	900	―	800	―	400	―	92.60

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：無

新規　　ー社（社名）　　、除外　　ー社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	4,594,824株	2025年12月期	4,594,824株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	276,257株	2025年12月期	269,497株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	4,321,130株	2025年12月期３Ｑ	4,334,389株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　　：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 8
（セグメント情報等） …… 8
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間における世界経済は、総じて底堅い成長が続いたものの、米国の通商政策の動向、中東情勢の緊迫化に伴うエネルギー価格の上昇や物流コストの増大などを背景に、先行きに対する慎重な見方が継続いたしました。 我が国経済は、雇用・賃金情勢の改善が継続したことや、活発なインバウンド需要等を背景に、個人消費を中心に緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、原材料費や人件費の高騰に伴う物価上昇の継続や、海外景気の下振れ懸念、為替相場の変動などにより、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが属する楽器関連機器業界におきましても、インフレによる小売市場の販売不振や流通在庫の調整が続いており、回復基調にあるもののそのペースは緩やかなものにとどまるなど、引続き予断を許さない状況となっております。

このような状況の中、為替相場が円安水準に推移したことに加え、欧州市場における販売が引続き好調に推移したこと等により、売上高は前年同期比で大幅な増収となりました。利益面におきましては、増収効果に加え、商品ミックスの改善や継続的なコスト削減等により売上総利益率が改善したことや、米国IEEPA関税に係る還付があったこと等により、売上総利益、営業利益及び経常利益ともに大幅に改善し、前年同期の損失計上から黒字転換いたしました。

以上の結果、当社グループの当第３四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は13,635,484千円（前年同期比12.8%増）、営業利益は747,803千円（前年同期は営業損失281,190千円）、経常利益は686,549千円（前年同期は経常損失386,808千円）となりました。また、関税還付金のうち過年度販売分208,372千円を特別利益に、過年度の英国付加価値税等に関する追徴見込額167,945千円を特別損失にそれぞれ計上し、法人税等257,091千円及び非支配株主に帰属する四半期純利益143,458千円を差し引いた結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は322,426千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失686,686千円）となりました。

当社グループは音楽用電子機器事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。製品カテゴリー別の説明は以下のとおりであります。

（ハンディオーディオレコーダー）

ハンディオーディオレコーダーは、「essentialシリーズ」が旧製品の市場在庫の解消やファームウェアアップデートにより販売が回復傾向に転じたことに加え、前期投入した「Studioシリーズ」の新製品効果により、当第３四半期連結累計期間の売上高は3,062,986千円（前年同期比26.6%増）となりました。

（デジタルミキサー/マルチトラックレコーダー）

デジタルミキサー/マルチトラックレコーダーは、L6maxやL12nextの新製品効果に加え、既存製品の販売も下期に入り持ち直したことから、当第３四半期連結累計期間の売上高は1,407,309千円（前年同期比8.7%増）となりました。

（マルチエフェクター）

マルチエフェクターは、前年同期のMS＋シリーズの新製品効果による需要が一巡し、その反動減があったことから、当第３四半期連結累計期間の売上高は892,745千円（前年同期比7.3%減）となりました。

（プロフェッショナルフィールドレコーダー）

プロフェッショナルフィールドレコーダーは、2023年以降に新製品の投入はないものの、一部製品の販売価格見直しによる販売施策等により当期に入って販売が持ち直しており、当第３四半期連結累計期間の売上高は991,238千円（前年同期比29.7%増）となりました。

（ハンディビデオレコーダー）

ハンディビデオレコーダーは、2022年以降に新製品の投入はないものの、一部製品の販売価格見直しによる販売施策等により、当第３四半期連結累計期間の売上高は319,763千円（前年同期比2.9%増）となりました。

（Mogar取扱いブランド）

Mogar取扱いブランドは、楽器関連のブランドの売上が好調であったことに加え、ユーロ高による為替換算の影響により、当第３四半期連結累計期間の売上高は1,052,766千円（前年同期比21.4%増）となりました。

（フックアップ取扱いブランド）

フックアップ取扱いブランドは、主力ブランドにおける新製品未投入や、国内インフレによる中高価格帯への購入マインド低下等により、当第３四半期連結累計期間の売上高は1,074,327千円（前年同期比7.0%減）となりました。

（Sound Service取扱いブランド）

Sound Service取扱いブランドは、主要ブランドを中心に需要が堅調に推移したことに加え、ユーロ高に伴う為替換算の影響もあり、当第３四半期連結累計期間の売上高は3,960,537千円（前年同期比14.6%増）となりました。

なお、従来独立したカテゴリーとして記載しておりました「マイクロフォン」「ボーカルプロセッサー」及び「オーディオインターフェース」につきましては、直近の販売実績の推移及び今後の開発計画に鑑み、重要性が低下したことから、前連結会計年度より独立した説明を省略しております。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当第３四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ236,130千円減少し、18,507,648千円となりました。これは主に、商品及び製品が648,157千円減少した一方、現金及び預金が1,088,817千円増加したことにより流動資産が141,902千円増加し、償却により有形固定資産が165,865千円、無形固定資産が274,965千円減少したことによるものであります。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ409,231千円減少し、10,914,218千円となりました。これは主に、長期借入金が214,085千円、リース債務（固定）が105,924千円、短期借入金が89,306千円、買掛金が64,531千円それぞれ減少したことによるものであります。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて173,101千円増加し、7,593,429千円となりました。これは主に、配当金の支払138,410千円及び為替換算調整勘定の減少92,725千円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益を322,426千円計上したことに加え、非支配株主持分が81,601千円増加したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の30.1%に対し、当第３四半期連結会計期間末は31.0%と0.9ポイント増加しております。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の業績につきましては、2026年８月13日に公表した「特別利益の計上及び連結業績予想の修正に関するお知らせ」に記載した2026年12月期の連結業績予想から変更はございません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,091,856	4,180,673
売掛金	2,246,647	2,196,397
商品及び製品	7,791,950	7,143,793
原材料及び貯蔵品	810,317	757,456
その他	744,148	551,881
貸倒引当金	△28,578	△31,958
流動資産合計	14,656,341	14,798,244
固定資産		
有形固定資産	1,501,251	1,335,385
無形固定資産		
のれん	1,891,533	1,621,347
その他	66,237	61,457
無形固定資産合計	1,957,770	1,682,805
投資その他の資産		
繰延税金資産	287,556	274,882
その他	340,858	416,330
投資その他の資産合計	628,414	691,213
固定資産合計	4,087,436	3,709,404
資産合計	18,743,778	18,507,648

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,488,567	1,424,036
短期借入金	4,852,990	4,763,684
1年内返済予定の長期借入金	474,891	506,287
リース債務	113,652	100,670
未払法人税等	11,576	74,729
賞与引当金	38,894	78,477
製品保証引当金	43,153	41,639
その他	1,091,062	1,119,850
流動負債合計	8,114,787	8,109,375
固定負債		
長期借入金	2,042,075	1,827,990
リース債務	928,117	822,192
退職給付に係る負債	188,037	148,810
その他	50,432	5,850
固定負債合計	3,208,662	2,804,842
負債合計	11,323,450	10,914,218
純資産の部		
株主資本		
資本金	212,276	212,276
資本剰余金	261,838	261,838
利益剰余金	3,333,817	3,517,833
自己株式	△282,972	△282,972
株主資本合計	3,524,959	3,708,975
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,113,424	2,020,699
退職給付に係る調整累計額	2,608	2,817
その他の包括利益累計額合計	2,116,033	2,023,517
非支配株主持分	1,779,335	1,860,937
純資産合計	7,420,327	7,593,429
負債純資産合計	18,743,778	18,507,648

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
売上高	12,092,491	13,635,484
売上原価	7,652,276	8,131,952
売上総利益	4,440,214	5,503,532
販売費及び一般管理費	4,721,405	4,755,728
営業利益又は営業損失（△）	△281,190	747,803
営業外収益		
受取利息	28,862	33,032
受取補償金	24,449	7,743
その他	4,472	8,281
営業外収益合計	57,784	49,058
営業外費用		
支払利息	74,893	95,581
為替差損	86,622	8,377
その他	1,885	6,352
営業外費用合計	163,402	110,311
経常利益又は経常損失（△）	△386,808	686,549
特別利益		
固定資産売却益	523	－
関税還付金	－	208,372
特別利益合計	523	208,372
特別損失		
減損損失	27,416	－
固定資産除却損	0	0
事業構造改善費用	－	4,000
過年度付加価値税等	－	167,945
その他	2,000	－
特別損失合計	29,416	171,945
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△415,702	722,976
法人税等	166,016	257,091
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△581,719	465,885
非支配株主に帰属する四半期純利益	104,966	143,458
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△686,686	322,426

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△581,719	465,885
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	58,154	△154,783
退職給付に係る調整額	816	410
その他の包括利益合計	58,970	△154,372
四半期包括利益	△522,748	311,512
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△716,311	229,910
非支配株主に係る四半期包括利益	193,563	81,601

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（セグメント情報等）

当社グループは音楽用電子機器事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	272,554千円	260,125千円
のれんの償却額	350,878 〃	215,778 〃